

ヤマハ株式会社
2016年3月期
第2四半期決算説明会

2015年 11月 2日



決算概要

■ 対前年同期、対前回予想共に増収増益

■ 4期連続の上期増収、営業増益

上期営業利益200億円超は、2008年3月期上期以来の水準

■ 楽器事業は、主力の電子ピアノ、管楽器が好調、ピアノも堅調に推移

■ 音響機器事業は、PA機器が好調に推移し、AV機器も回復基調

■ 電子部品は、対前年同期増収及び、構造改革効果により黒字化

■ その他の事業も、概ね計画通りで推移し、損益改善 黒字化

2016/3期 上期業績概要



(億円)

	15/3	16/3	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	2,064	2,175	+5.4%	2,155	+0.9%
営業利益 (営業利益率)	151 (7.3%)	212 (9.8%)	+40.8%	185 (8.6%)	+14.8%
経常利益 (経常利益率)	151 (7.3%)	222 (10.2%)	+47.7%	185 (8.6%)	+20.2%
当期利益※ (当期利益率)	108 (5.2%)	174 (8.0%)	+61.4%	140 (6.5%)	+24.4%

為替レート (円)

売上高	US\$	103	122	121
	EUR	139	135	132
利益	US\$	103	122	121
	EUR	140	134	131

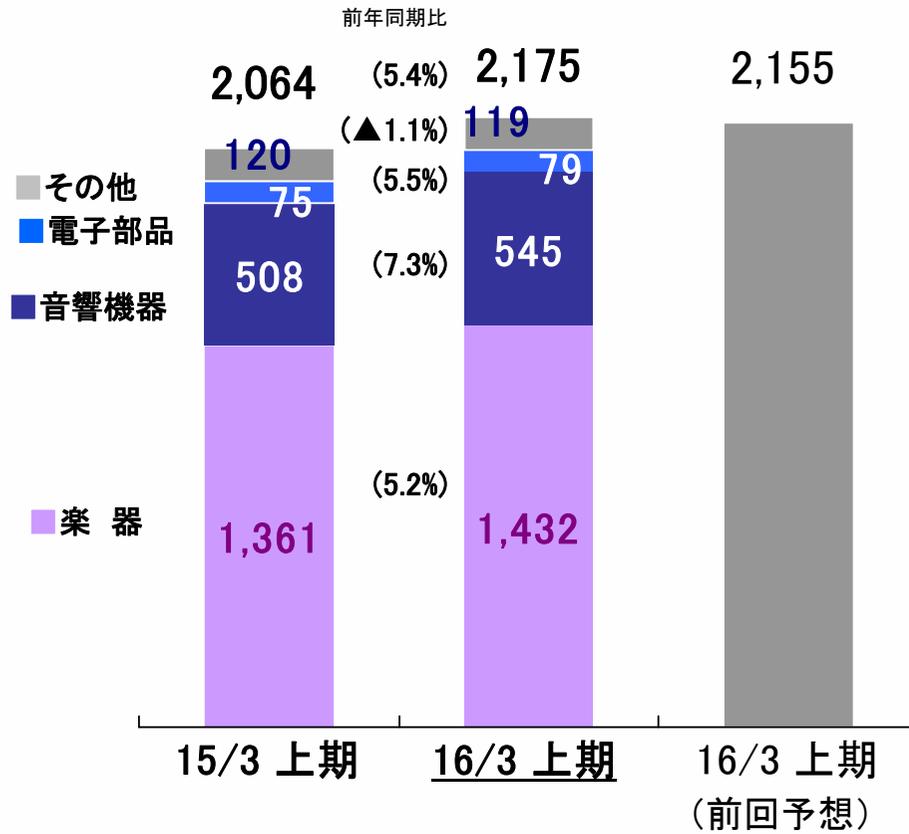
※連結財務諸表上は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」

●前回予想は2015/7/30 発表

2016/3期 上期事業別業績

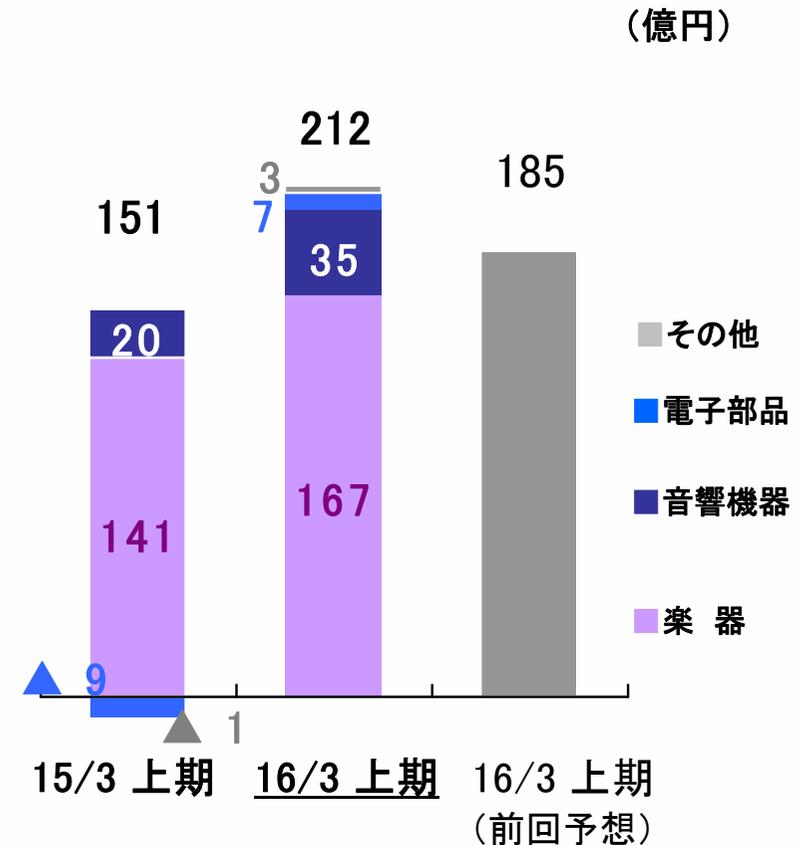


売上高



為替影響額 (億円)		
前期比較	+101	楽器 +73 音響機器 +27 電子部品 +2
前回予想比較	+11	楽器 +7 音響機器 +3

営業利益



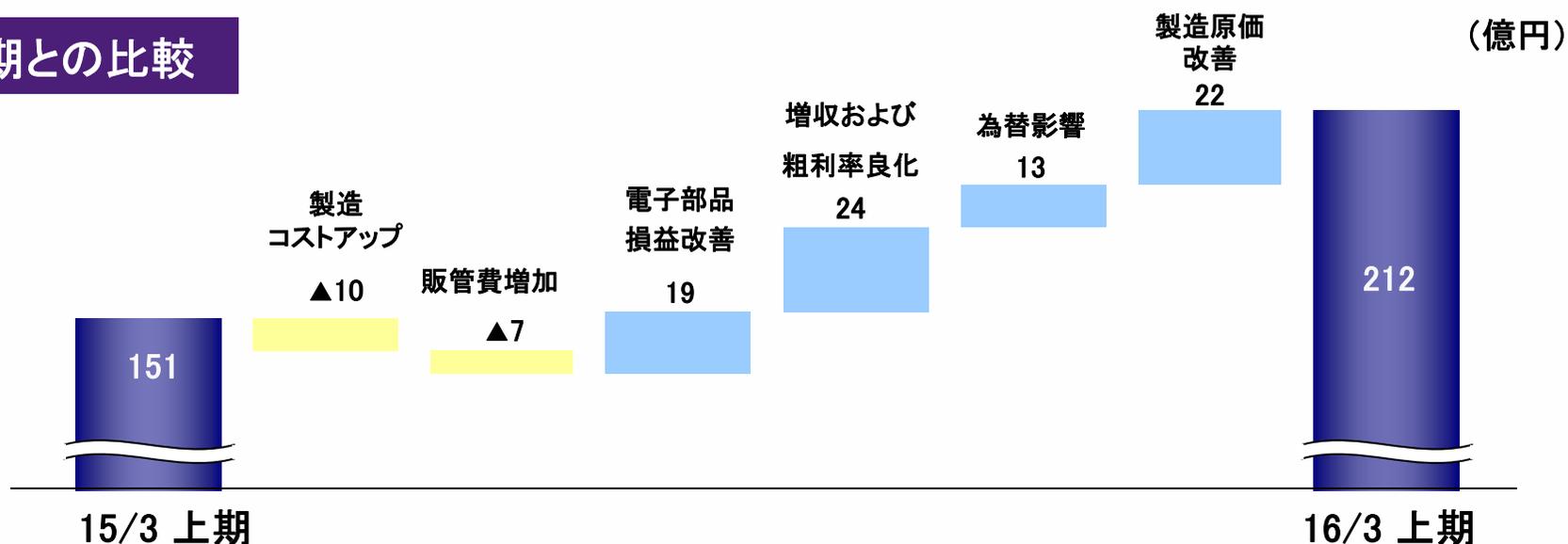
為替影響額 (億円)		
前期比較	+13	楽器 +12 音響機器 +4 電子部品 ▲3
前回予想比較	+10	楽器 +6 音響機器 +5

●前回予想は2015/7/30 発表

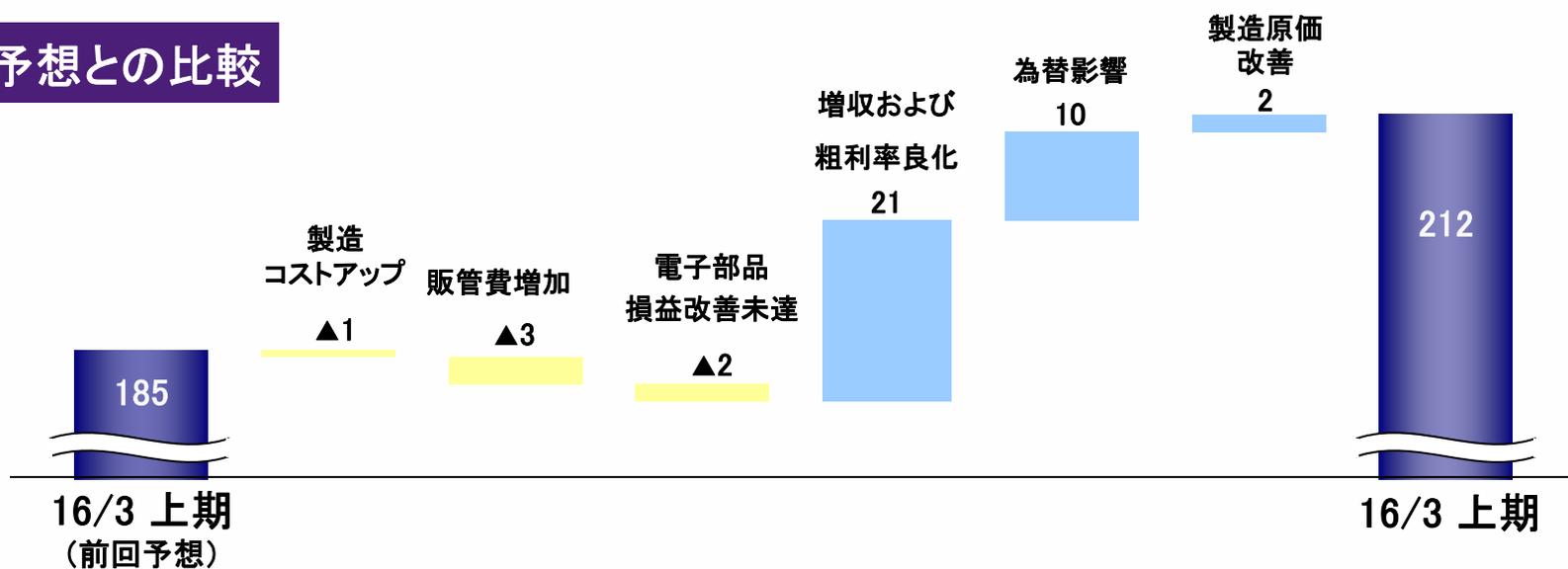
2016/3期 上期営業利益増減要因



前期との比較



前回予想との比較



●前回予想は2015/7/30 発表

楽器事業 上期の状況

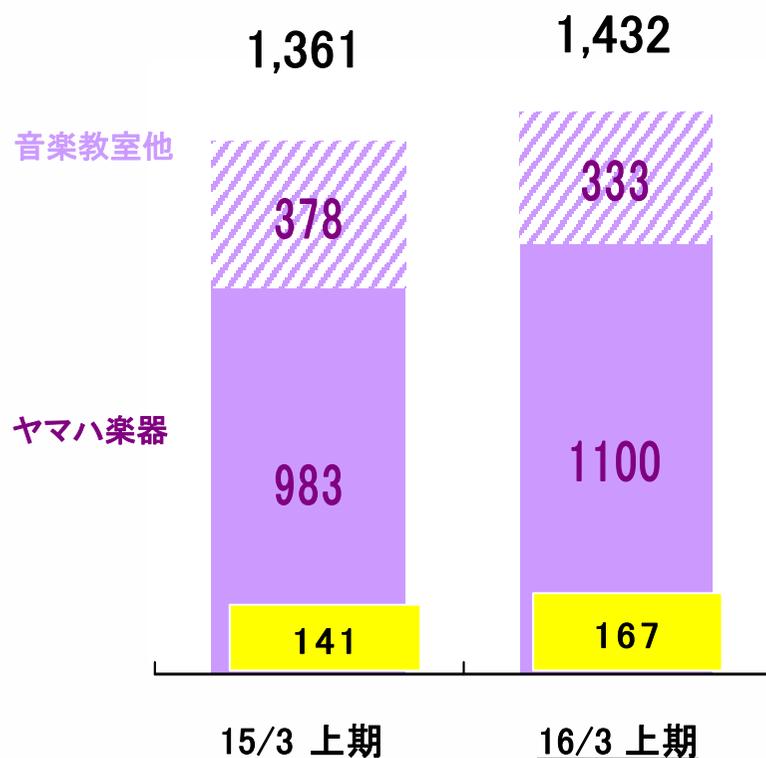


上期

売上高

営業損益

(億円)



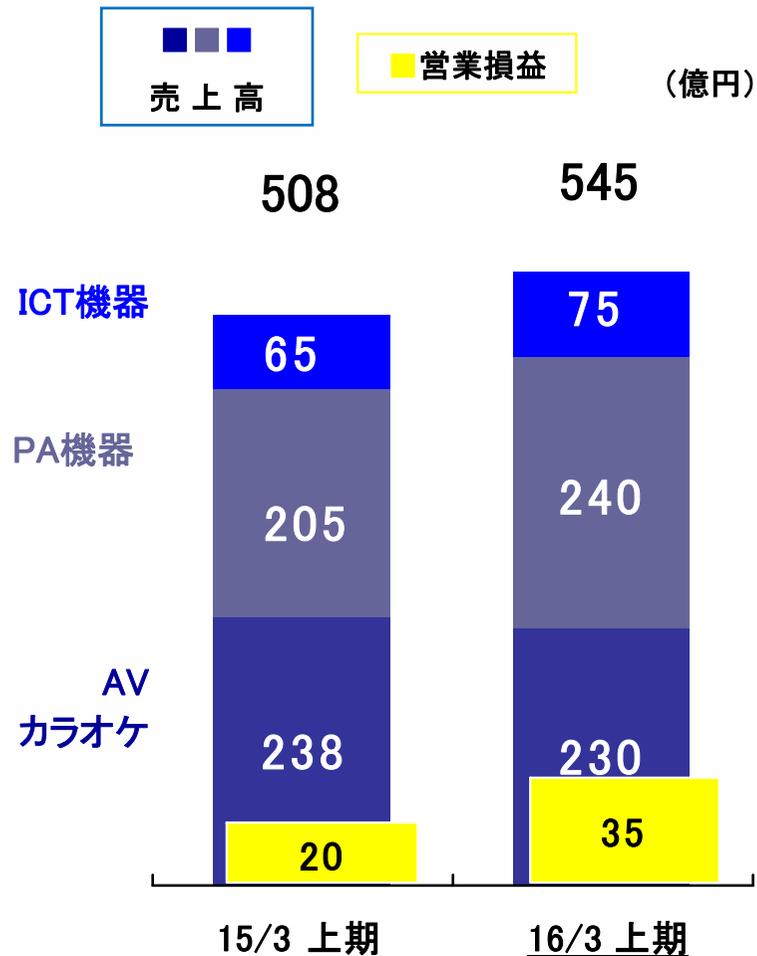
上期の状況

- ・対前年同期増収増益
- ・市場別では、中国市場 欧州市場が好調
北米、その他の市場は堅調に推移
- ・商品別では、電子ピアノ、管楽器、ギターが
対前年同期で実質二桁成長
- ・音楽教室は、Q2より財団への運営統合で
対前年同期42億円の減収影響

音響機器事業 上期の状況



上期



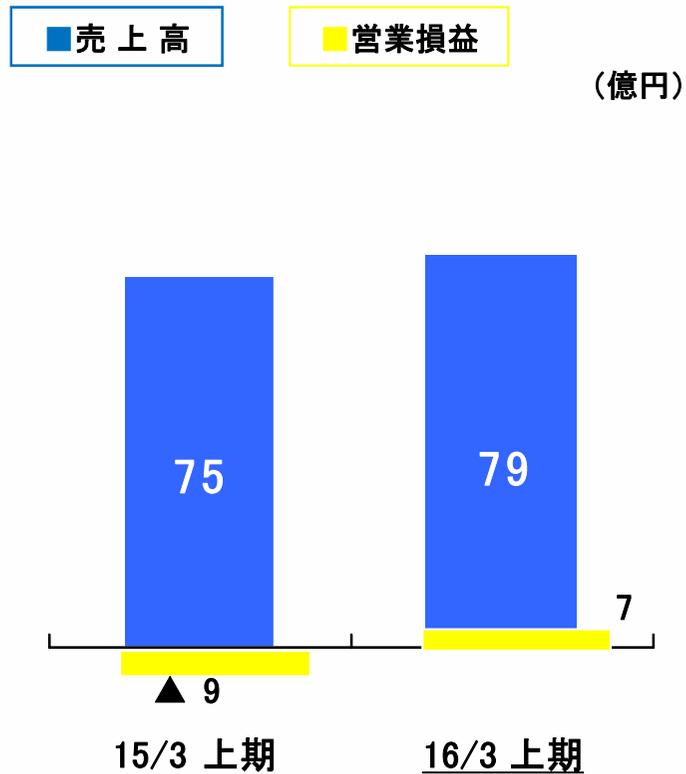
上期の状況

- ・対前年同期増収大幅増益
- ・AV機器は、新商品効果等でQ2より回復基調
- ・カラオケは、対前期減収も、前回想定通り
- ・PA機器は、デジタルミキサー新商品等で実質二桁成長
- ・ルーター、Revolabsも好調に推移

電子部品事業 上期の状況



上期



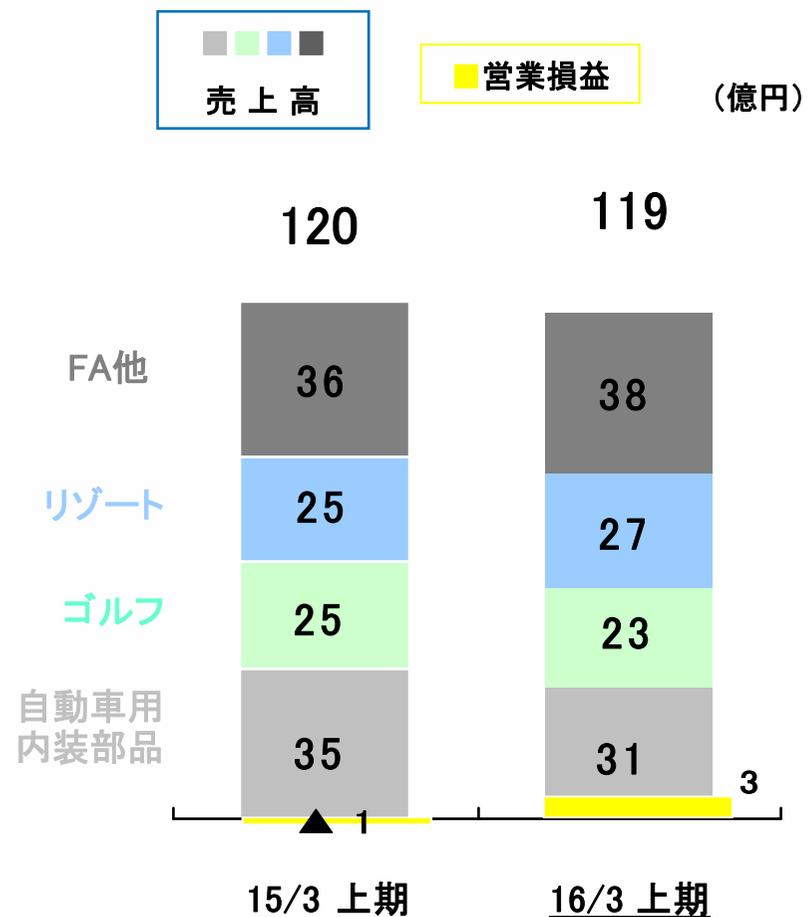
上期の状況

- ・対前期増収増益、黒字化
- ・アミューズメント向け部品が特需による前倒し出荷
- ・鹿児島製造子会社の正式譲渡完了(10/1付)

その他の事業 上期の状況



上期



上期の状況

- ・対前年同期並みの売上も、損益改善、黒字化
- ・FA機器が好調に推移も受注は減少
- ・リゾート事業は、堅調に推移
- ・ゴルフは、対前年同期減収
- ・自動車用内装部品は想定通り

2016/3期 下期及び通期業績見込み



下期の見通し

- 楽器の市況見通しに、大幅な変更はなし
- 音響機器は、AV機器新商品効果とPA機器の着実な伸長を見込む
- 電子部品は、上期の前倒し出荷の影響により商品構成変化等で損益悪化を想定
- 為替レートは、下期US\$ 120円 ユーロ 130円で変更なし

通期の業績見込み

- 上期業績が、売上総利益の増、為替影響等により好調に推移したことを踏まえ、売上高は4,370億円と前回予想を据えおくものの、営業利益 370億円 経常利益 375億円 当期純利益※ 290億円と各々上方修正する。

2016/3期 通期業績予想



(億円)

	15/3	16/3	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	4,322	4,370	+1.1%	4,370	-
営業利益 (営業利益率)	301 (7.0%)	370 (8.5%)	+22.8%	350 (8.0%)	+5.7%
経常利益 (経常利益率)	312 (7.2%)	375 (8.6%)	+20.1%	350 (8.0%)	+7.1%
当期利益※ (当期利益率)	249 (5.8%)	290 (6.6%)	+16.3%	270 (6.2%)	+7.4%

為替レート (円)

売上高	US\$	110	121	120
	EUR	139	133	131
利益	US\$	109	121	120
	EUR	141	132	131

※連結財務諸表上は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」

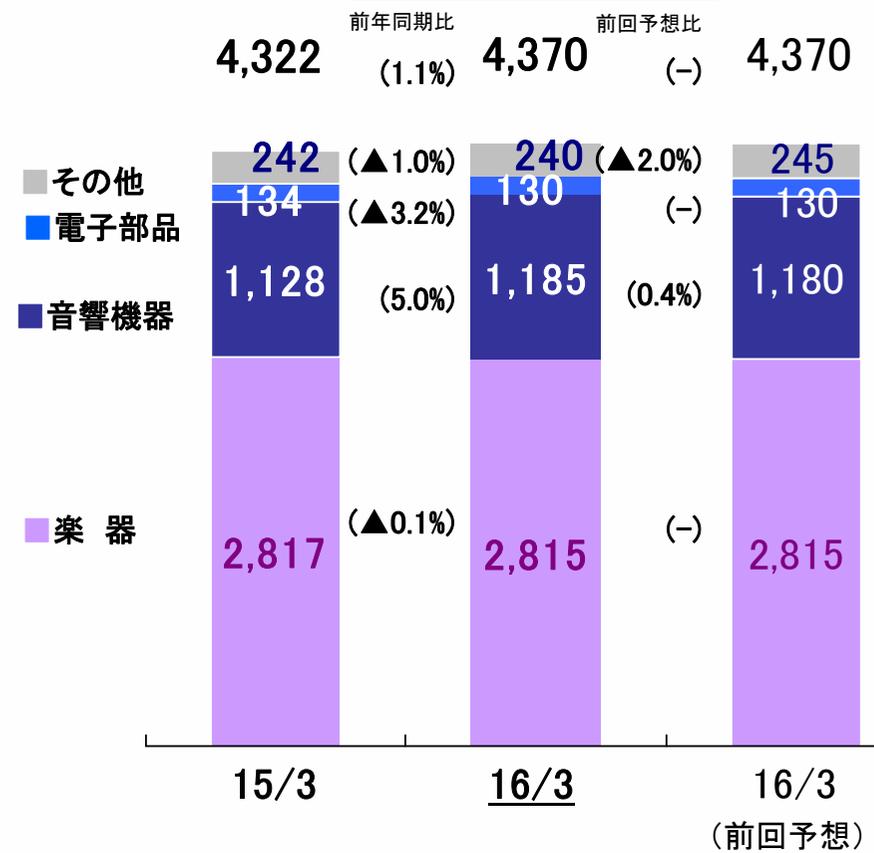
*16/3下期為替レート見込は、売上・利益ともにUS\$: 120円、EUR: 130円

●前回予想は2015/7/30 発表

2016/3期 通期事業別業績予想



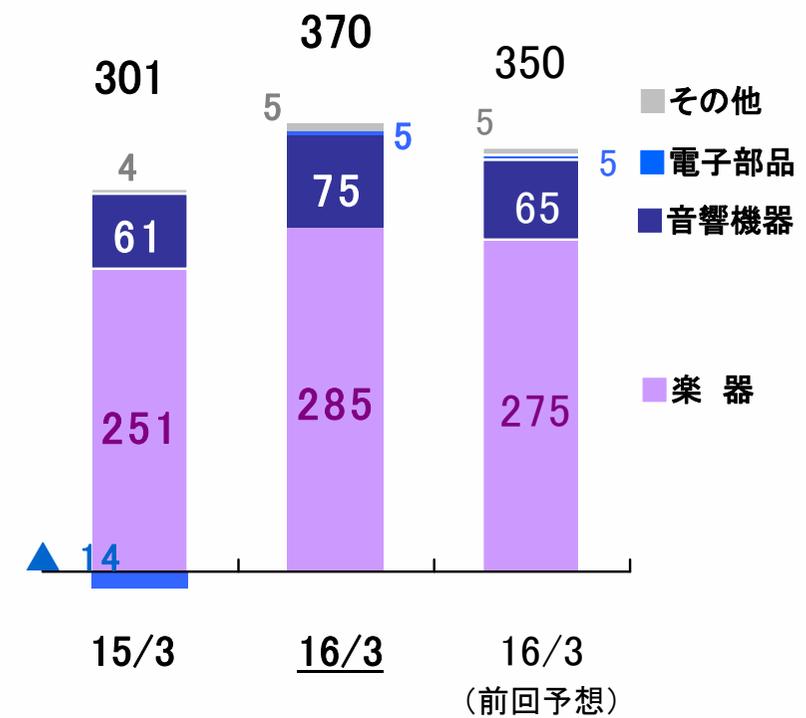
売上高



為替影響額 (億円)	
前期比較	+83 楽器 +62 音響機器 +19 電子部品 +2
前回予想比較	+11 楽器 +7 音響機器 +3

営業利益

(億円)



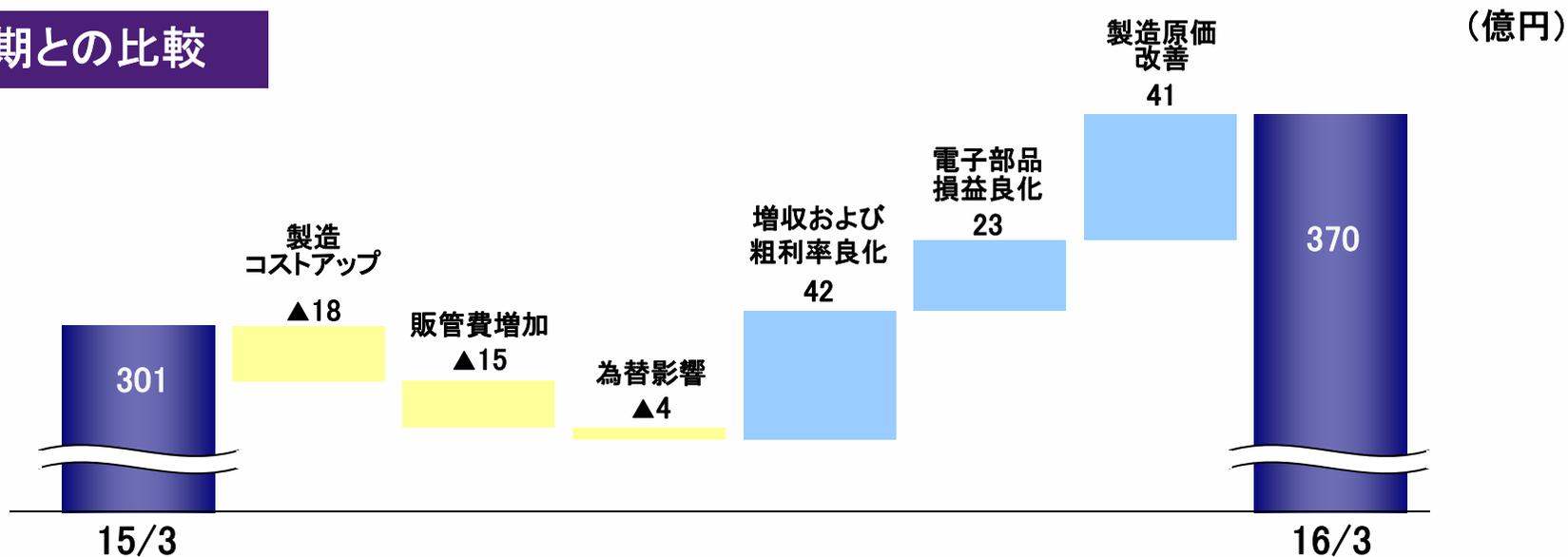
為替影響額 (億円)	
前期比較	▲4 楽器 +3 音響機器 ▲3 電子部品 ▲3
前回予想比較	+10 楽器 +6 音響機器 +5

●前回予想は2015/7/30 発表

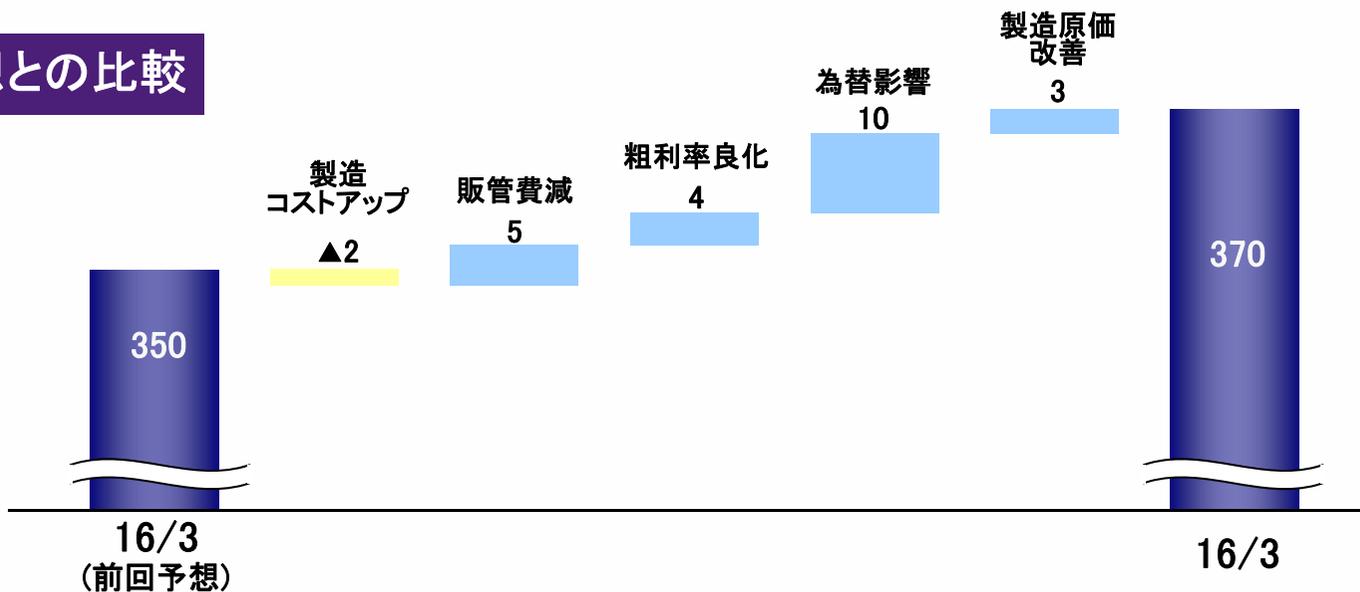
2016/3期 通期営業利益予想増減要因



前期との比較



前回予想との比較



●前回予想は2015/7/30 発表

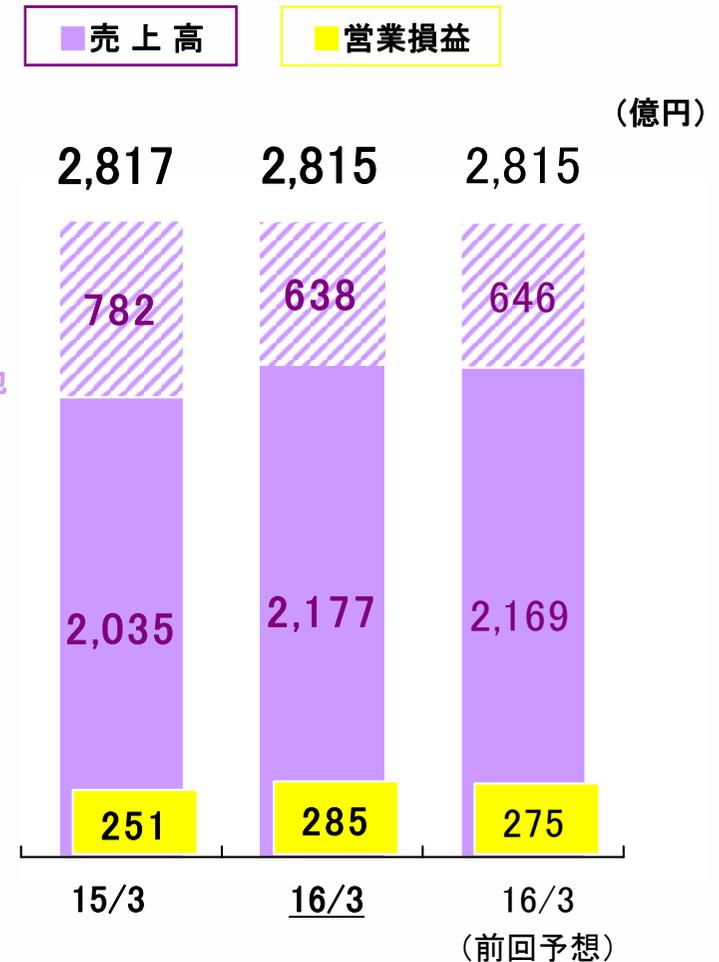
楽器事業（予想）



通期

通期予想

- ・売上高は前回予想を据えおくものの増益を予想
- ・各市場とも上期状況が概ね継続
- ・商品別でも電子ピアノ、管楽器、弦打楽器の通期での好調を想定
- ・音楽教室は、Q2以降の財団への運営統合で対前期124億円の減収影響

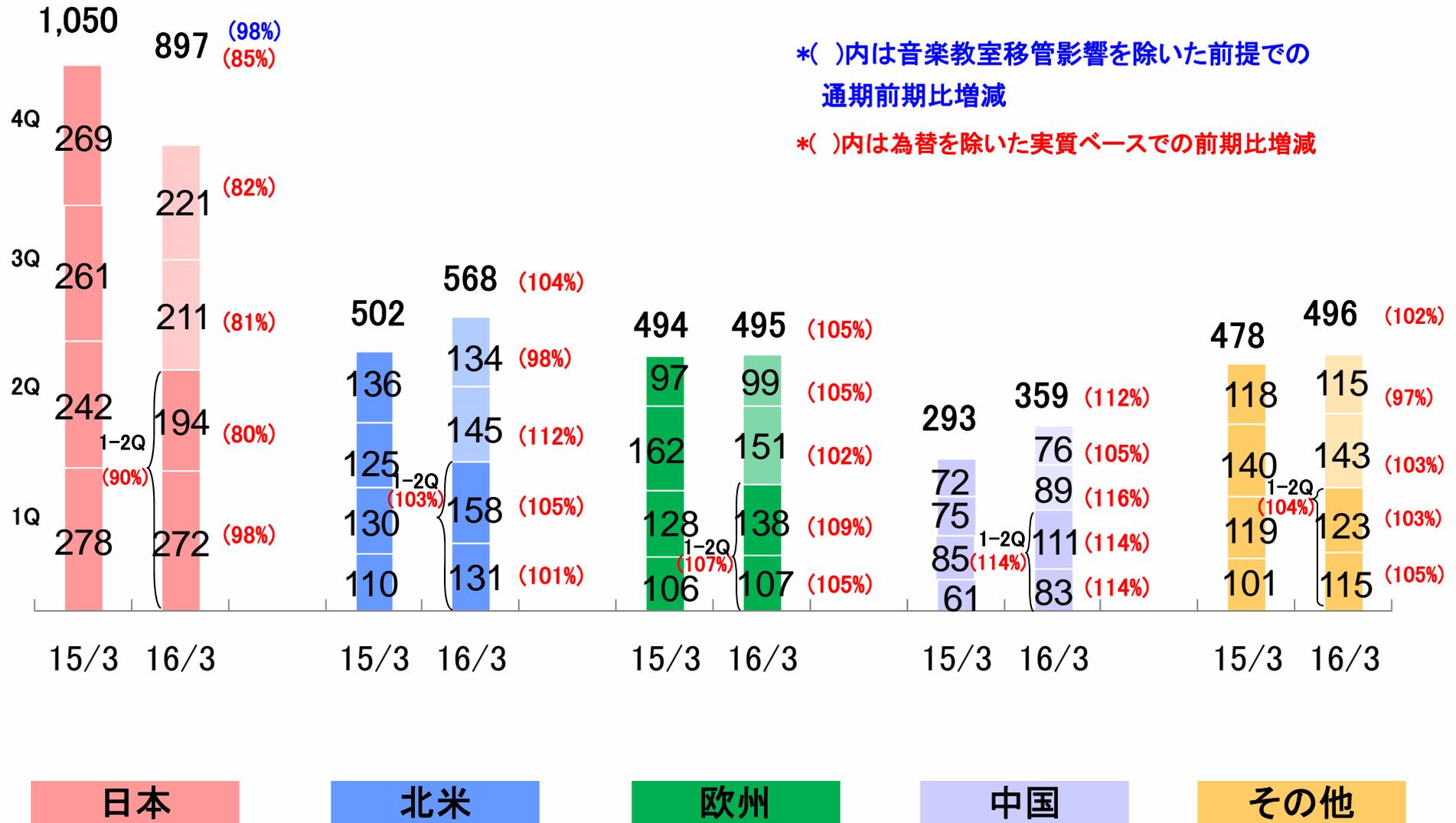


楽器事業(地域別の販売予想)



【楽器販売予想 (ソフト、音楽教室等を含む)】

(億円)



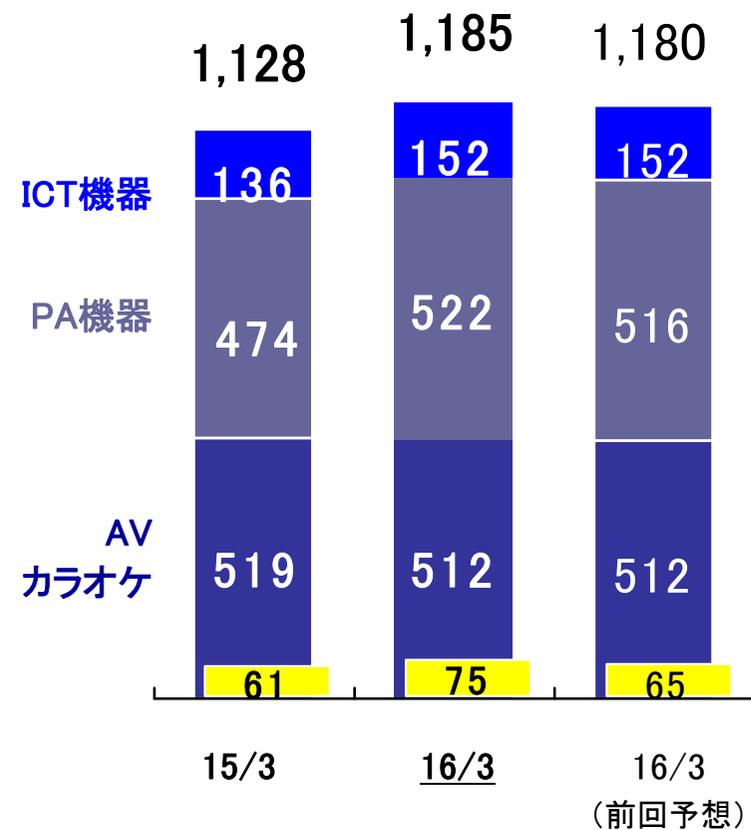
音響機器事業 (予想)



通期



(億円)



通期予想

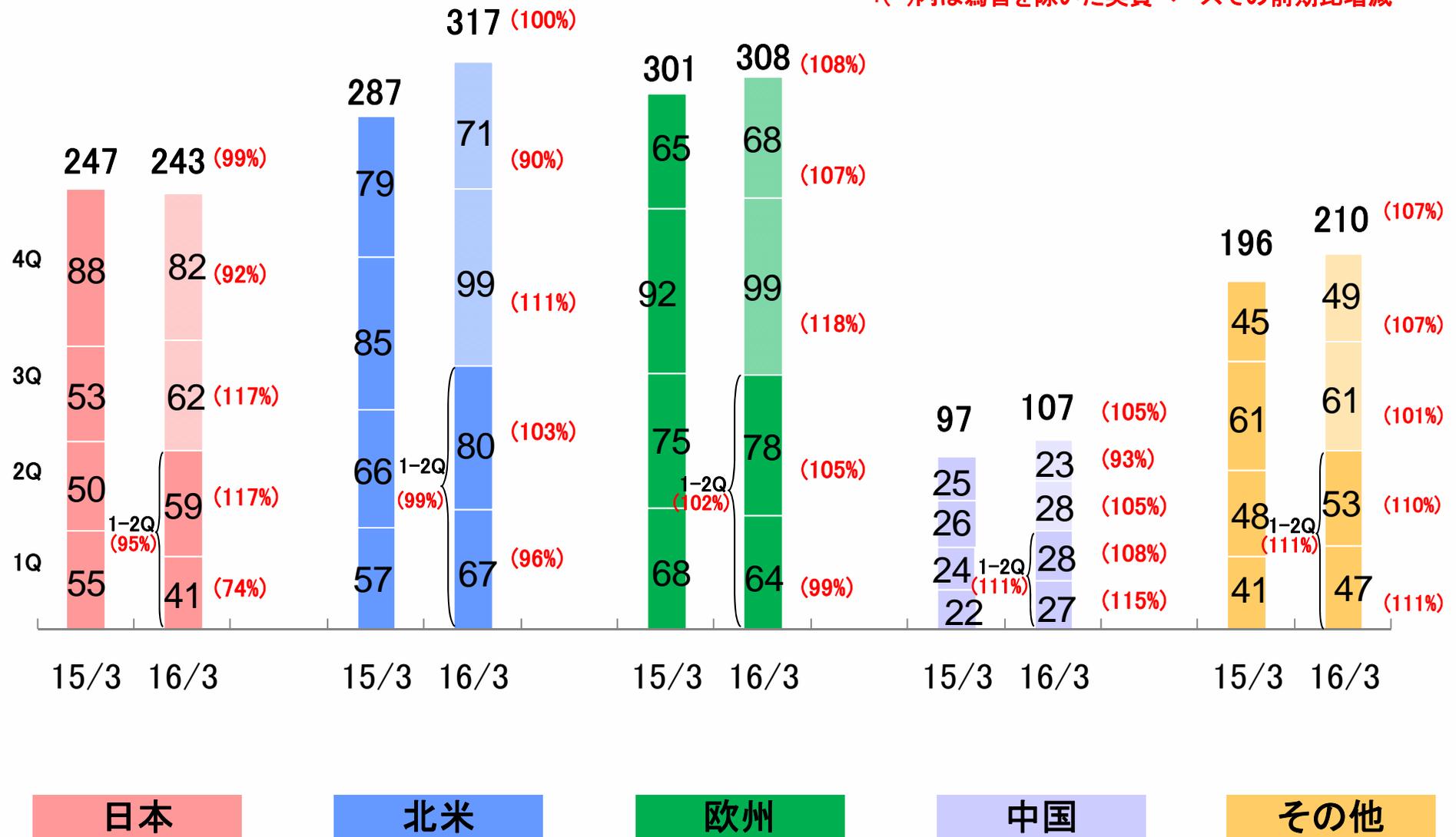
- ・対前年、対前回予想で増収増益を予想
- ・AV機器は、新商品効果により回復想定
- ・PA機器は、デジタルミキサー新商品等での増収見込む
- ・ICT機器も堅調な推移を想定

音響機器事業(地域別の販売予想)



(億円)

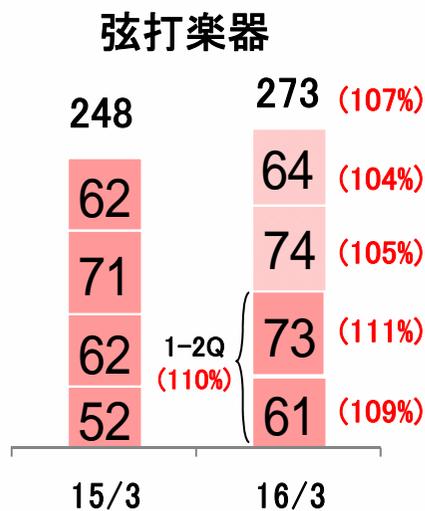
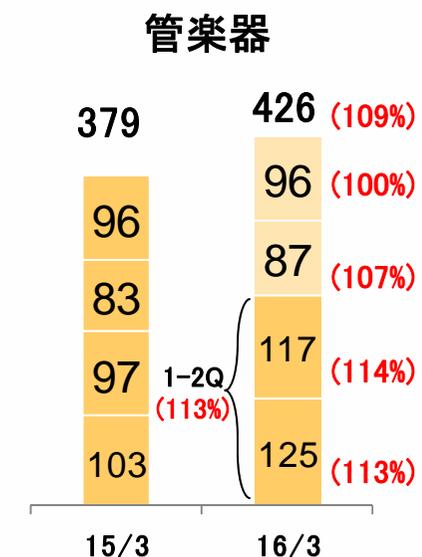
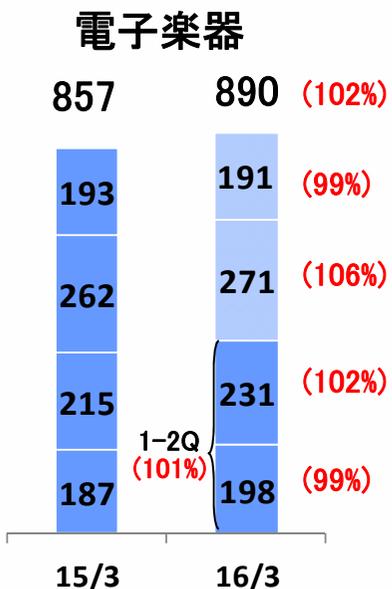
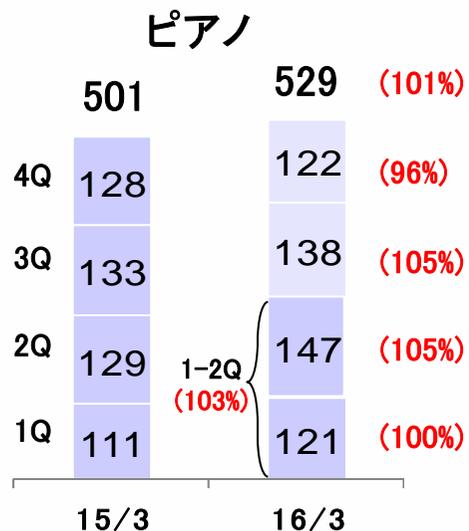
*()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減



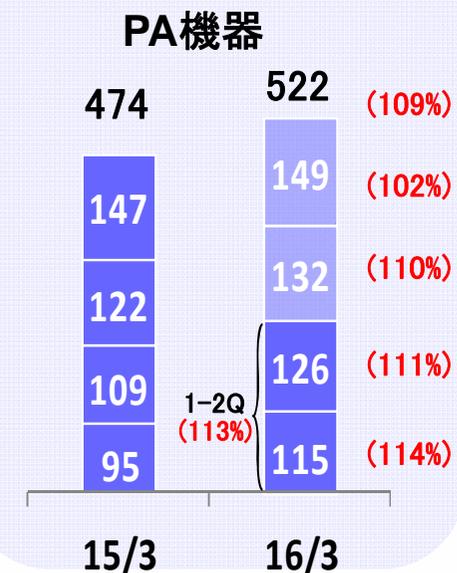
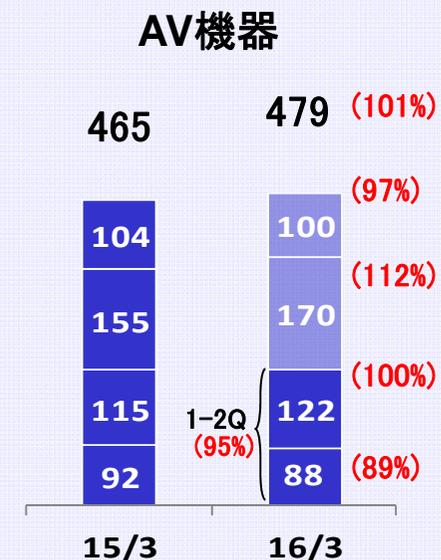
楽器・音響機器事業(主要商品別販売予想)



楽器事業



音響機器事業 (億円)



*()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

通期

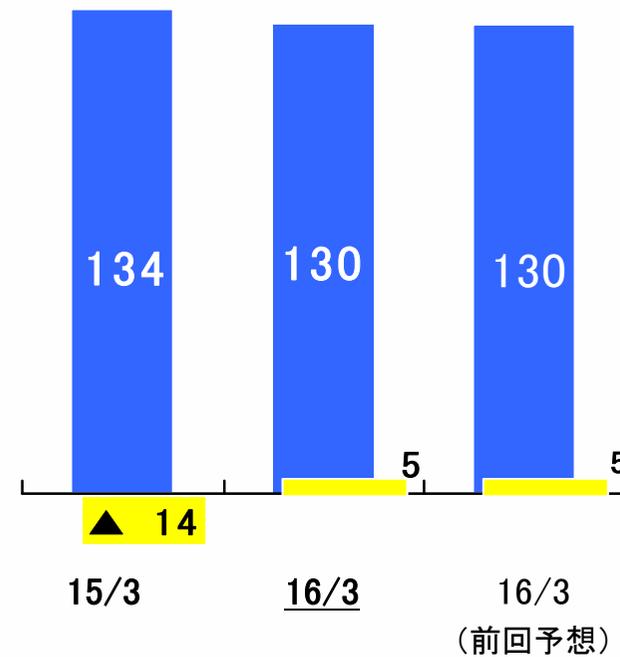
■ 売上高

■ 営業損益

(億円)

通期予想

- ・前回予想を据え置き
- ・アミューズメント用部品の上期前倒し出荷に伴う下期減収、商品構成変化による損益悪化を想定



その他の事業（予想）



通期

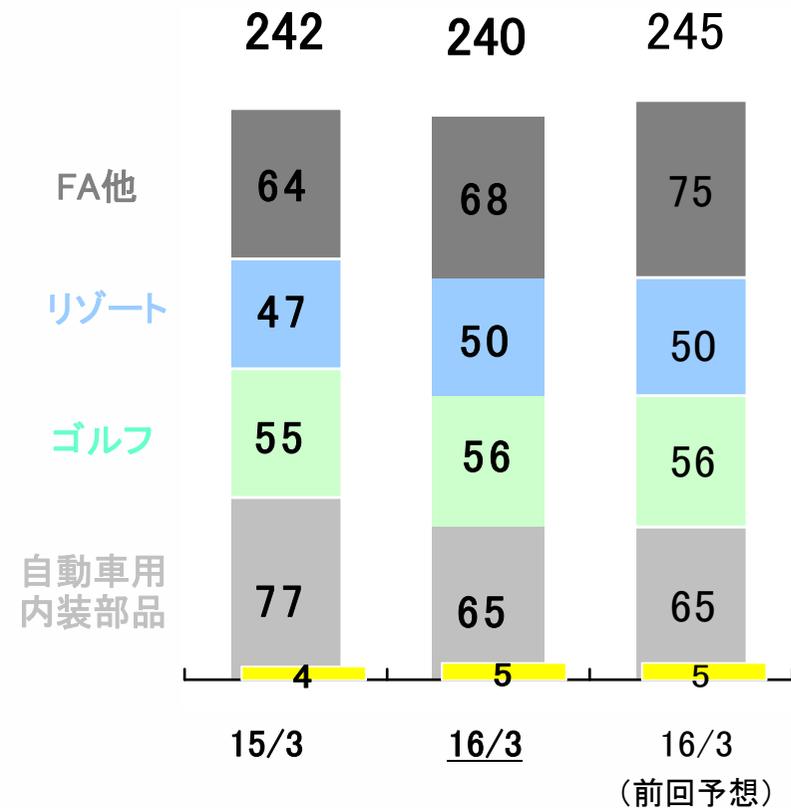


営業損益

(億円)

通期予想

- ・前回予想から減収 営業利益は据え置き
- ・ゴルフは、新商品効果に期待
- ・リゾートは、冬季集客企画の効果に期待
- ・FA機器は、受注減少により対前回予想減収
- ・自動車用内装部品は想定通り

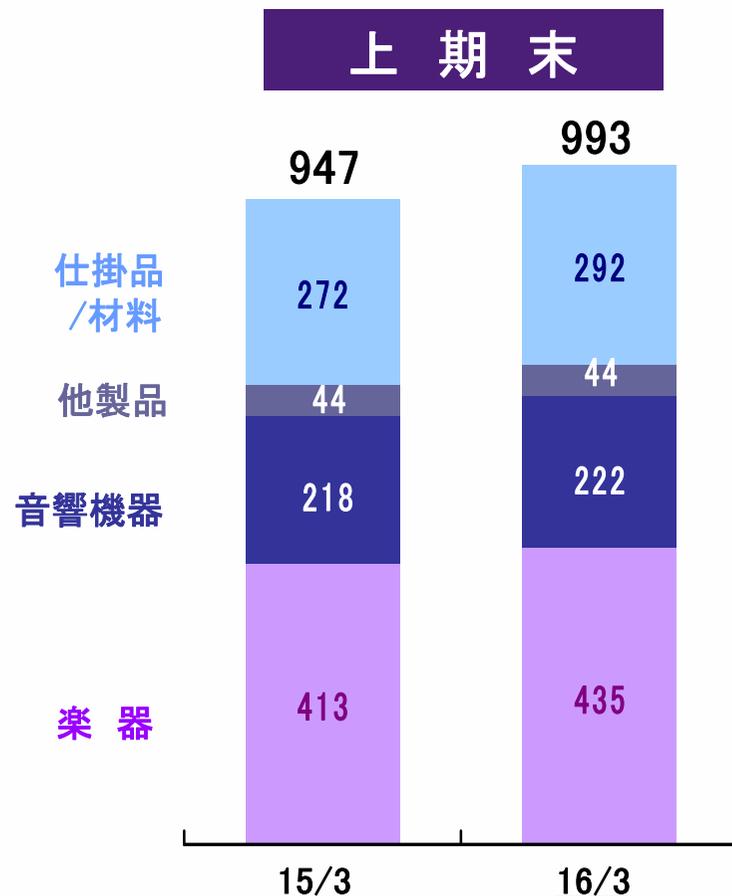


棚卸資産

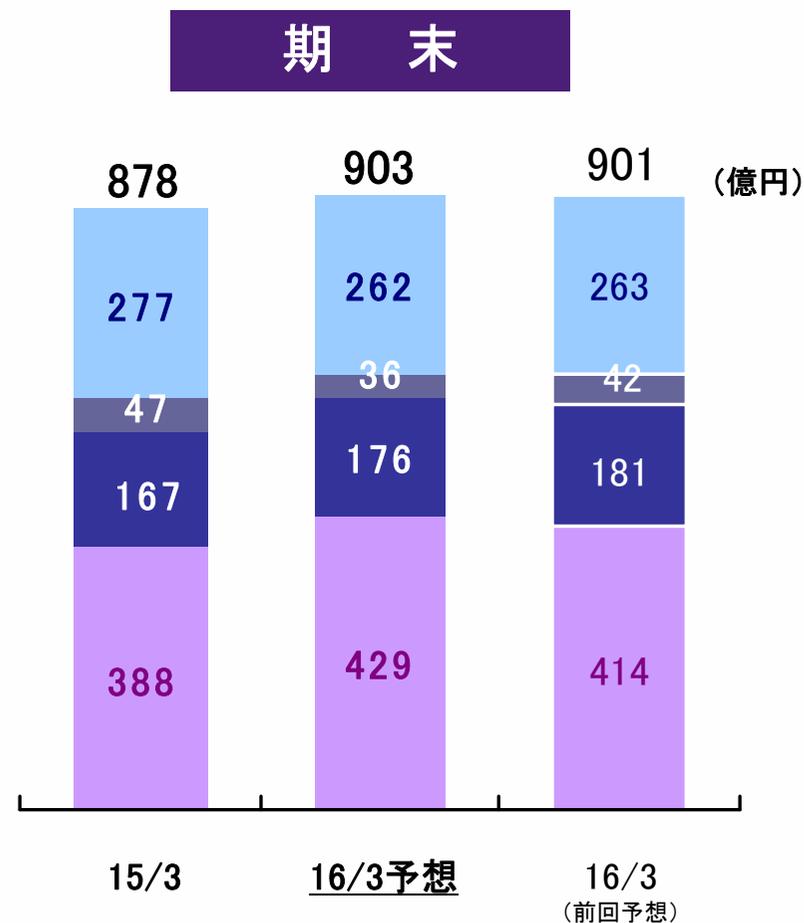


➤ 上期末総在庫は、993億円 為替影響+6億円を除くと40億円の増加

➤ 期末総在庫は、903億円 ほぼ前回予想通り



為替影響額 (億円)	
前期比較	+6



為替影響額 (億円)	
前期比較	▲1

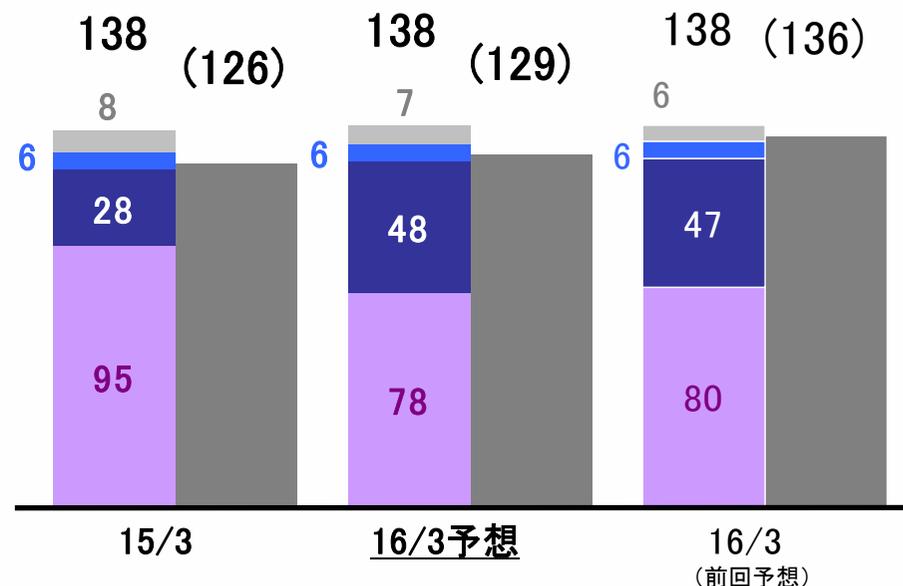
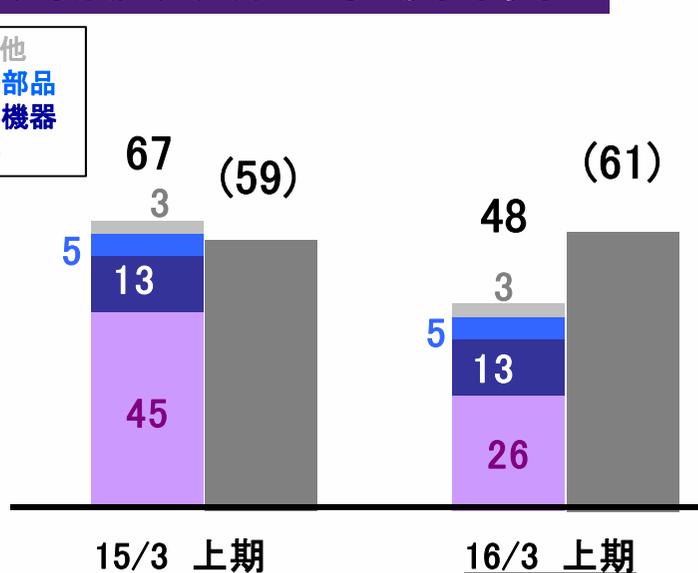
設備投資額・減価償却費/研究開発費



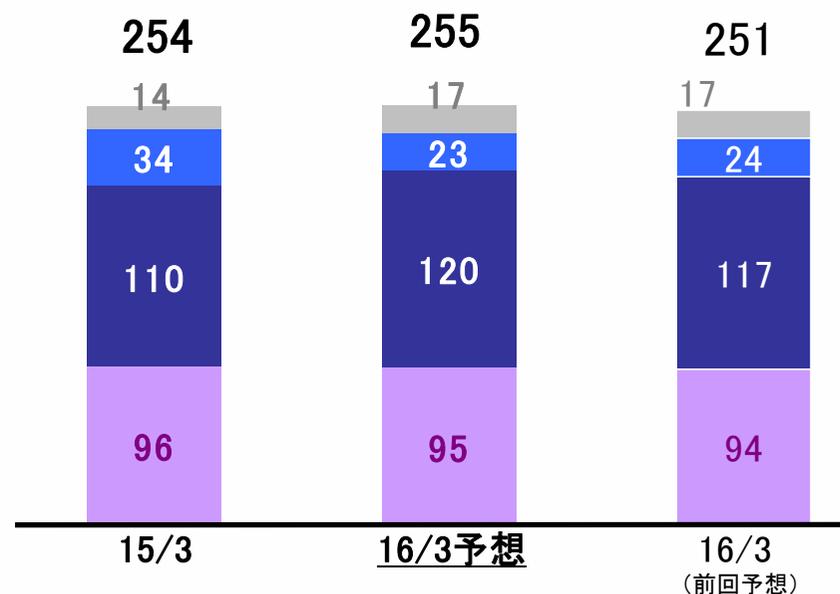
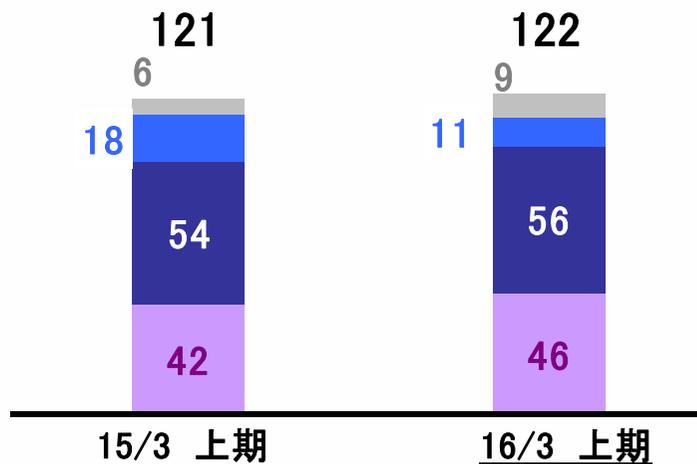
設備投資額(減価償却費)

(億円)

- その他
- 電子部品
- 音響機器
- 楽器



研究開発費



●前回予想は2015/7/30 発表

貸借対照表



(億円)

	上期末			期末予想		
	14/9末	15/9末	増減	15/3末	16/3末	増減
現預金	723	876	153	793	963	170
売上債権	606	596	▲10	603	565	▲38
棚卸資産	947	993	46	878	903	25
他流動資産	161	221	60	202	191	▲11
固定資産	2,456	2,543	87	2,824	2,559	▲265
資産計	4,893	5,229	336	5,300	5,181	▲119
仕入債務	253	212	▲41	232	187	▲45
借入金	217	214	▲3	119	107	▲12
他負債	1,403	1,366	▲37	1,462	1,365	▲97
純資産計	3,020	3,437	417	3,488	3,522	35
負債純資産計	4,893	5,229	336	5,300	5,181	▲119

付属資料

2016/3期 2Q業績概要



(億円)

	15/3	16/3	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	1,068	1,119	+4.8%	1,100	+1.7%
営業利益 (営業利益率)	88 (8.3%)	124 (11.1%)	+39.9%	96 (8.7%)	+29.0%
経常利益 (経常利益率)	92 (8.6%)	138 (12.3%)	+49.7%	100 (9.1%)	+37.8%
当期利益※ (当期利益率)	67 (6.3%)	112 (10.0%)	+66.3%	77 (7.0%)	+44.9%

為替レート (円)

売上高	US\$	104	122	120
	EUR	138	136	130
利益	US\$	103	123	120
	EUR	140	134	130

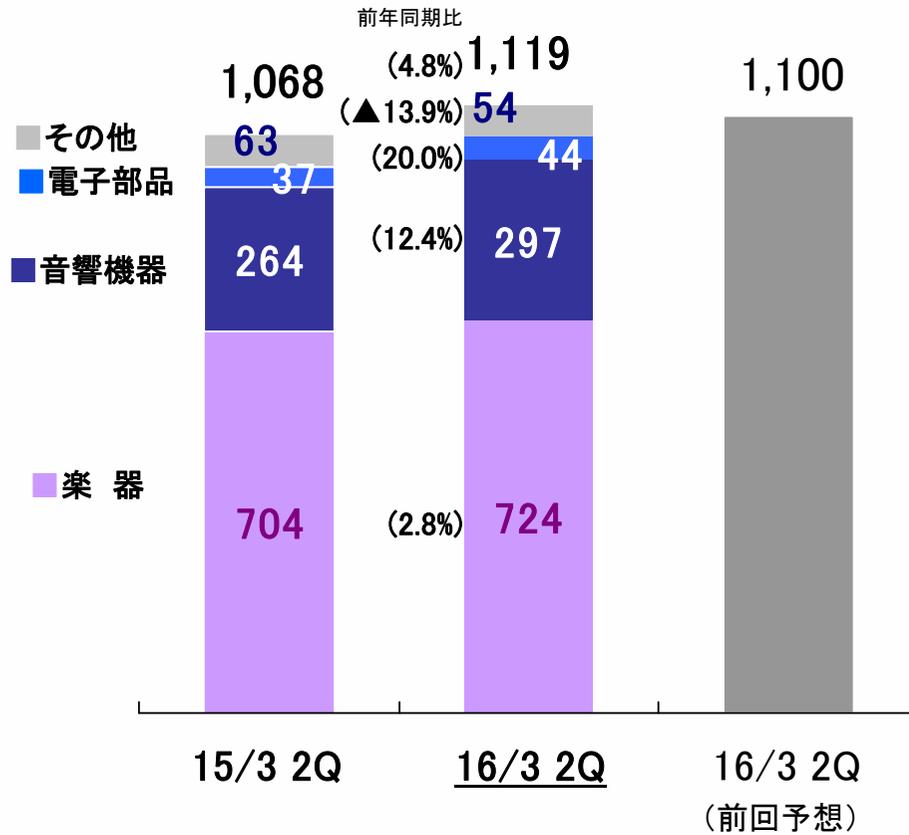
※連結財務諸表上は「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」

●前回予想は2015/7/30 発表

2016/3期 2Q事業別業績

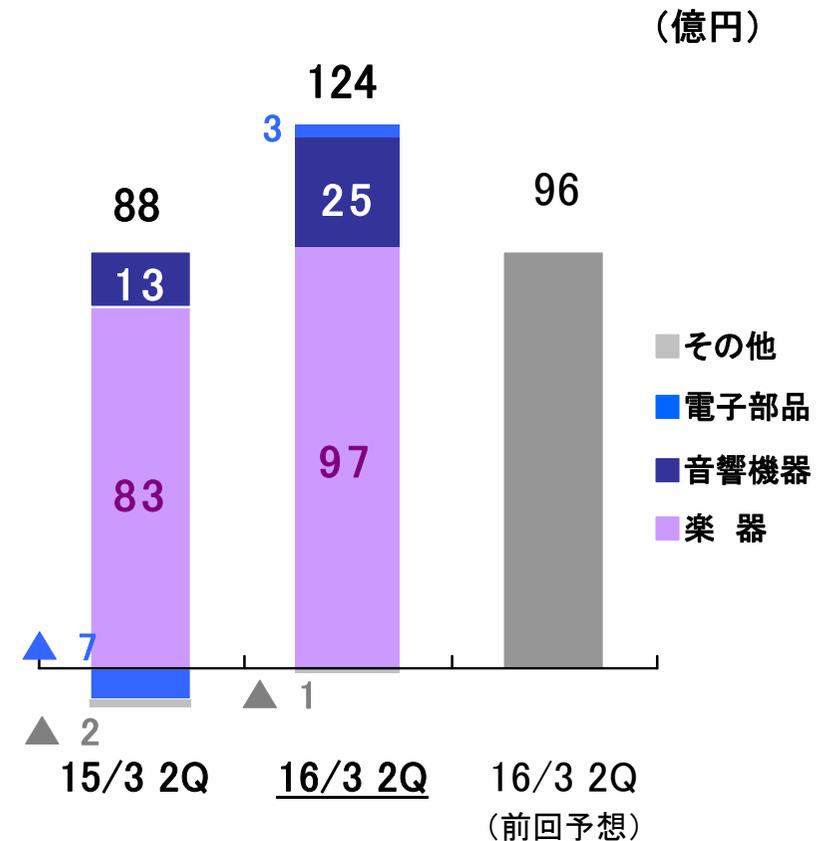


売上高



為替影響額 (億円)		
前期比較	+49	楽器 +35 音響機器 +13 電子部品 +1
前回予想比較	+11	楽器 +7 音響機器 +3

営業利益



為替影響額 (億円)		
前期比較	+10	楽器 +8 音響機器 +4 電子部品 ▲2
前回予想比較	+10	楽器 +6 音響機器 +5

●前回予想は2015/7/30 発表

2016/3期 上期営業外損益、特別損益



(億円)	15/3 上期	16/3 上期	16/3 上期前回予想
営業外損益			
金融収支	11	13	12
その他	▲11	▲3	▲12
計	0	10	0
特別損益			
固定資産処分損益	▲1	5	0
その他	▲2	▲2	0
計	▲3	3	0
法人税他			
法人税等	41	57	47
法人税等調整額	▲3	▲7	▲2
少数株主利益	2	1	0
計	40	51	45

含 米国法人
特恵関税還付 7

2016/3期 通期営業外損益、特別損益



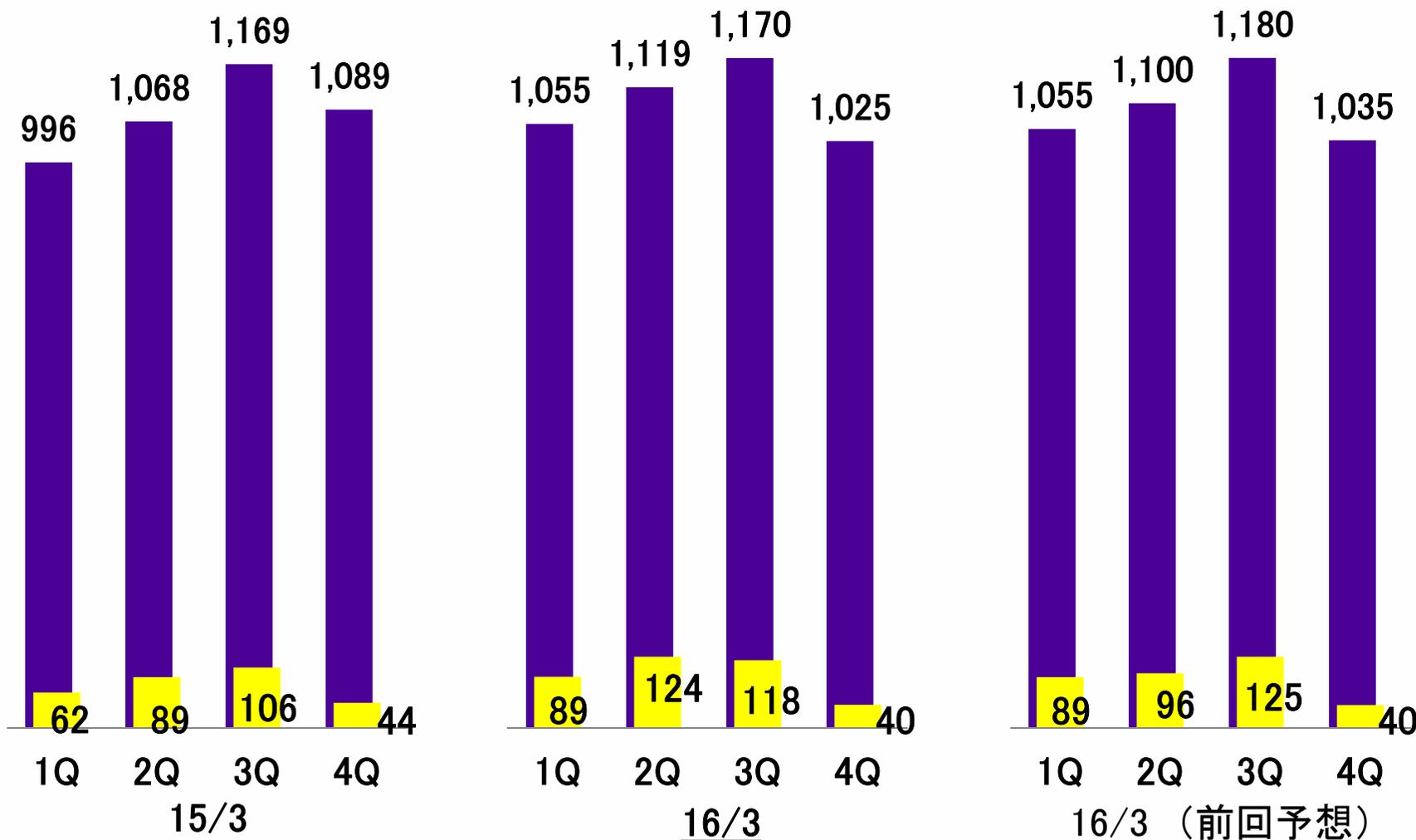
(億円)	15/3 通期	16/3 通期	16/3 通期前回予想
営業外損益			
金融収支	26	24	23
その他	▲15	▲19	▲23
計	11	5	0
特別損益			
固定資産処分損益	0	4	0
その他	▲27	▲4	0
計	▲27	0	0
法人税他			
法人税等	73	90	78
法人税等調整額	▲39	▲5	2
少数株主利益	2		0
計	36	85	80

構造改革費用
▲18
固定資産減損
▲9

四半期別売上高／営業利益



(億円)



売上高(通期)	4,322
営業利益(通期)	301

売上高(通期)	4,370
営業利益(通期)	370

売上高(通期)	4,370
営業利益(通期)	350

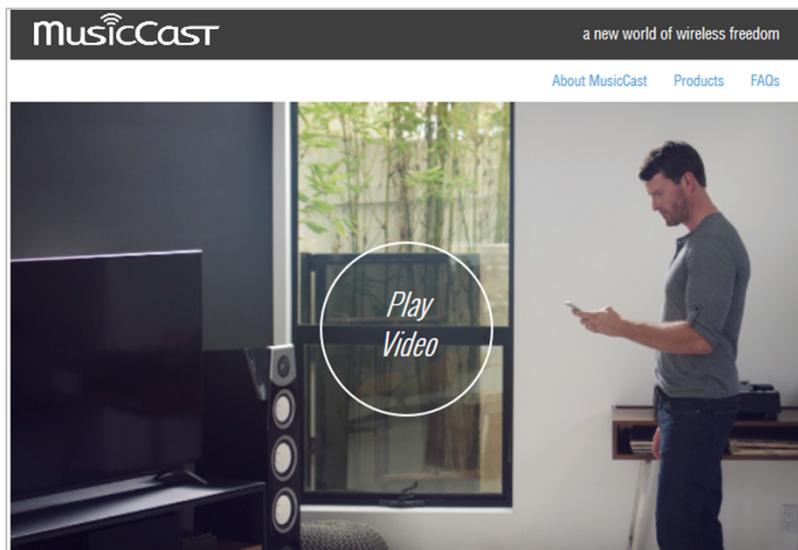
●前回予想は2015/7/30 発表

2016/3期の期待の新商品



ネットワーク上の音楽コンテンツの再生やアプリ操作を実現するネットワーク機能 新機能『MusicCast®』

～欧米を中心に対応機種を発売開始～



INTRODUCING MusicCast

Now Yamaha makes it easy to bring music to every room in your home wirelessly.

Whether you start with a single speaker or the ultimate home theater, MusicCast expands to fit your needs, providing wireless multiroom audio playback controlled by a simple app.

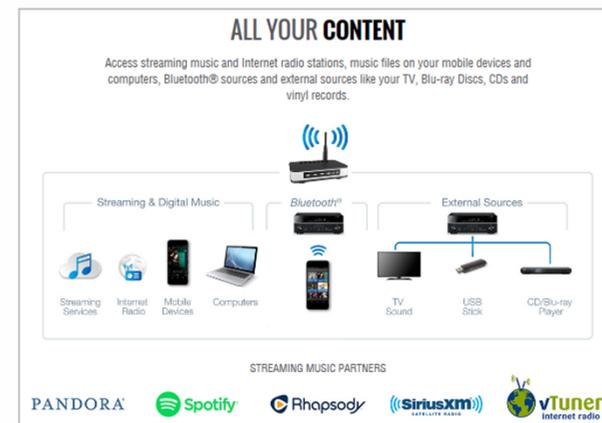
Available in a wide range of AV receivers, sound bars and speakers, MusicCast offers more options and versatility than ever before.

EXPAND YOUR POSSIBILITIES

MusicCast uses your existing Wi-Fi network to stream music wirelessly throughout your home.

Play different music in each room, combine rooms or get everyone listening to the same thing.

MusicCast devices support both Wi-Fi and wired Ethernet connections, so you can also choose to build an all-wired network if desired.



この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基いており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。